

臨床薬理学

責任者・コーディネーター	情報伝達医学分野 平 英一 教授		
担当講座・学科(分野)	情報伝達医学分野、薬学部臨床薬剤学講座、薬学部薬物代謝動態学講座		
担当教員	平 英一 教授、古濱 和久 非常勤講師、樋口 宗史 非常勤講師、近藤 ゆき子 講師、工藤 賢三 教授、小澤 正吾 教授		
対象学年	3	区分・時間数	講義 12.0 時間
期間	前期		

・学習方針（講義概要等）

薬物治療は現代医療の中で中心的な役割を占めている。治療に有効な薬物を開発し、患者により安全で有効な治療薬を選択するための学問が臨床薬理学である。臨床薬理学は、臨床薬物動態の検討、薬物の開発と臨床試験、そして個人に適した有効治療の確立などがあり、臨床薬物治療学に科学的さらには倫理的側面からもアプローチする学問である。

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

・教育成果（アウトカム）

医師として薬物治療、薬物開発、臨床試験に参加する際の基本的知識を臨床薬理学の講義を聞くことで、習得に到達する。また、薬物動態の個人差を理解し、各個人向け治療を実践できる知識を習得に到達する。

・到達目標（SBO）

- 1 薬物治療の際の科学的根拠と、倫理、法律を説明できる。
- 2 薬物の処方について説明できる。
- 3 薬物の毒性について説明できる。
- 4 薬物の開発について説明できる。
- 5 薬物に対する反応の個人差について説明できる。

6 臨床的な薬物動態について説明できる。
7 薬物間の相互作用について説明できる。

・ 講義日程

(矢) 西 104 1-D 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
6/21	火	1	薬学部臨床薬剤学講座	工藤 賢三 教授	開発、臨床試験 新薬が開発されるまでの過程と、医薬品のヒトにおける有効性・安全性を確保するための試験について学ぶ。
6/21	火	2	情報伝達医学分野	古濱 和久 非常勤講師	医薬品毒性学 医薬品には必ず毒性と副作用がある。毒性学の総論を理解し、特に医薬品の毒性について理解を深める。また、薬物の品質管理システムについて学ぶ。 薬害と薬害を起こした薬物について学ぶ。
6/28	火	1	情報伝達医学分野	樋口 宗史 非常勤講師	肥満現代病である肥満をベースに、肥満関連ペプチドについて学ぶ。
6/28	火	2	薬学部臨床薬剤学講座	工藤 賢三 教授	薬物動態、代謝の臨床薬理的確な薬物療法を実施するための基礎として、薬物の生体内での動き（吸収・分布・代謝・排泄）について学ぶ。
7/4	月	1	情報伝達医学分野	近藤 ゆき子 講師	薬物相互作用薬物間の相互作用は服薬の際の大きな注意点の一つである。薬物間の相互作用の総論に加え、個別例についても学ぶ。
7/4	月	2	薬学部薬物代謝動態学講座	小澤 正吾 教授	薬理遺伝学・遺伝子多型と薬物代謝 薬物代謝の能力と薬物の作用について学ぶ。遺伝的に薬物代謝能力が著しく低いヒト、著しく高いヒトが存在する。そのようなヒトについての、薬物治療上の注意点を学ぶ。

7/5	火	1	薬学部薬物代謝動態学講座	小澤 正吾 教授	遺伝薬理学・個人差薬理作用の個人差と薬物投与設計について、遺伝薬理学、年齢（小児期、老年期）・妊娠や病態（肝障害・腎障害）に合わせた投与設計を中心に学ぶ。
7/5	火	2	情報伝達医学分野	平 英一 教授	処方薬物を投与する際には処方箋が必要である。薬物を処方する際の処方箋の書き方を、剤形別に基本的事項を学ぶ。

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	NEW 薬理学 改訂 6 版	田中千賀子、加藤隆一 編	南江堂	2011
参	シンプル薬理学 改訂 5 版	野村隆英、石川直久 編	南江堂	2014
参	Goodman & Gilman's the pharmacological basis of therapeutics 12th ed.	Laurence L. Brunton	McGraw-Hill	2011
参	カッツング薬理学 原著 10 版	Bertram G.Katzung 著、荒木勉ほか訳	丸善	2009
参	カラー図解 これならわかる薬理学 第 2 版	Heinz Luellmann, Klaus Mohr, Lutz Hein 著、佐藤俊明訳	メディカルサイエンスインターナショナル	2012
参	集中講義薬理学：カラーイラストで学ぶ 第 2 版	渡邊康裕 編	メジカルビュー社	2015

・成績評価方法

筆記試験で 60 点以上の場合に合格。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
登録済の機器・器具はありません			